

# 「入試が実施されるか不安だが、がんばりたい」

## 学習塾



訪栄町のeis u 高校部本部 四日市駅東口校で

# 再開の現場から

eis u 総本部の岩倉淳さん（五）は「塾は生徒や保護者の意思で来てもらっている。勉強を停滞させないため、あらゆる対策を講じながら教室を開いている」と話す。

校舎には高校生約六百人が在籍。授業は主に有名講師の映像を教室内のパソコンで見学する。不明点や疑問点を教室にいる担任の講師に質問できる仕組みになっている。生徒たちは二階の教室で、一席ずつ空けてパソコンの前に座り、ノートを広げる。緊急事態宣言中は、塾には来ず、自宅のみで映像授業を受けてもらうようにしていた。

塾にいる担任の講師が生徒の勉強記録や確認テストの点数などを画面上でチェックし、Zoom（ズーム）などのビデオアプリで勉強のアドバイスをした。

学校の臨時休校などがあつたコロナ禍の現状に、受験生はさまざまな思いを抱える。同教室に通う高校三年の女子生徒（二）

夕方、マスクを着けた制服姿の高校生が続々と入室する。非接触型の体温計で検温を終えると、サーマルカメラの付近に立ち、モニターを見上げた。体温を二重でチェックする仕組みだ。

四日市市の学習塾「eis u 高校部本部 四日市駅東口校」の一階ロビー。教室の入り口には手指の消毒やマスク着用などを促す看板を設置。感染対策を講じた環境を「グリーンゾーン」と名付け、張り紙などで取り組みを紹介している。

は「学校がないのは受験生として不安だった」とこぼす。「コロナ禍で入試がちゃんと実施されるのかも不安だが、今は感染に気をつけながら塾でがんばりたい」と話す。

高校三年生の中谷悠暉さん（二）は「大学でもクラスターが発生していて秋から冬にかけてどのくらい深刻な状態になるのか気になる」と話す。「家よりも友人がいる塾の方が勉強がはかどる。毎回検温するなど対策は安心で、高校の休校中には過去問演習など充実した受験対策ができた」と明るい表情を見せた。

教室横のカウンターには「二時間限に一回の換気」「パソコン・マウス・机の消毒」「顔を触らない、かかない」など感染防止策を記したポスターがずらりと並ぶ。教室長の中村威俊さん（四）は「生徒の安全を第一に、スタッフ全員で情報共有して消毒や換気を徹底していきたい」と話した。

（磯部愛）

# 感染対策徹底し授業

の門下生は、盗み、ム、4、り、い、名、の、走、押、20、に、だ、た、ろ、「、と、た、I、さ、1、後、の、ツ、取、入、男、た。